

ユースケースの集約状況

ケース名	いつ	誰から/ どこから	誰へ/ どこへ	何を	その他の要素 (瞬時性、エリア等)	通信技術・方式	課題、要検討事項（主に通信面）	議論の優 先度等
避難情報①	災害発生 時・直後	公共機関？	一般者 (要避難エリア)	警報 避難の必要性	きわめて高い瞬時性 が望まれる。	マルチホップ マルチキャスト	情報伝達エリアの特定・限定方法 発信者の確認・制限（いたずら／なりすまし対策） 重複送受信の回避・削減（輻輳防止） 情報鮮度管理（古い情報による混乱防止、伝達終結方法）	
避難情報②	同上	同上	同上	避難場所 避難ルート	同上	同上	（上記に加え） 地図情報を持たない端末への対応 大容量データの伝送 有効な避難ルートの生成	
救助要請①	災害発生以 降随時	一般者 (けが等をした者)	一般者 (発信者の周囲)	事案の状況 (発生日時、状況、 現在位置、緊急度)	なるべく高い瞬時性 が望まれる。	シングルホップ マルチキャスト	発信者の確認・制限（いたずら／なりすまし対策）	
救助要請②	同上	同上	緊急機関	同上	同上	マルチホップ ルーティング有り（？）	発信者の確認・制限（いたずら／なりすまし対策） 緊急機関への接続、ルーティング設定、到達確認	
安否確認①	災害発生後 ～避難時・避難後	一般者 (路上、避難 所等)	一般者 (不特定あるいは家族等の特定者)	安否情報 (発信日時、安否状況、 滞在場所、メッセージ)	情報は受信端末に蓄積。 時間はかかってもよいが被災場所を含む一定エリアをカバーしたい。	マルチホップ マルチキャスト	情報伝達エリアの特定・限定方法 発信者の確認・制限（いたずら／なりすまし対策） 重複送受信の回避・削減（輻輳防止） 情報鮮度管理（古い情報による混乱防止、伝達終結方法） メッセージ閲覧者（端末）の限定（必要な場合）	
安否確認②	同上	同上	特定サーバ (避難所やインターネット等の安否確認情報集約用)	同上	時間はかかってもよいが到達可能性を大きく取りたい。	マルチホップ ルーティング有り（？）	発信者の確認・制限（いたずら／なりすまし対策） サーバへの接続、ルーティング設定、到達確認	
拠点間通信 (通話)	災害発生後 ～避難時・避難後	避難所、病院、役所間 他のネットワーク		音声 一般データ	音声の場合は低遅延	マルチホップ ルーティング有り	平時システムとの共用 車両配置ポイントの設定 接続先ネットワークの構成把握	

（その他の共通的課題） 平時・災害のモード切替（タイミング、方法、対象エリアの設定、解除等）、緊急情報とその他の情報の判別と優先扱い、個人情報の扱い、情報の入力・表示方法（定型化） 等